

改めて皆様新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはご家族共々明るい新しい時代を予感させてくれる良いお正月を過ごされた事と心よりお慶び申し上げます。昨年中はまだまだ、難しい年でありましたが、皆様方はもとより、多くの市民、会員の方々のご支援、ご協力を賜り無事会議所運営を全うする事ができました。誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

本日は恒例となりました新春賀詞交歓会をご案内申し上げました所、公私共に大変お忙しい折と存じましたが、鈴木市長さん、自民党幹事長代理を務められる浜田靖一代議士を始めとして、川名、石井県議会議員等、多くの関係団体各界各人の皆様方のご参加を賜り、夢と誇りある君津市の新時代への再出発にふさわしい、華やかな賀詞交歓会とさせて頂けます事は、主催者と致しまして誠にありがたく、深く御礼を申し上げます。

さて、昨年は待望久しかった安倍内閣の経済政策、アベノミクスは地方にある私達にとっては、まだ恩恵は感じられませんが、間違いなく円安、株高等と見事に大逆転させ、デフレによって意欲や自信を失っていた私達に、これから景気は必ず良くなるぞと言う安堵感を与え、経済の好不況と言うものは人の心の中に起こるものですから、今年こそデフレから脱出して日本経済を成長軌道に乗せる絶好のチャンスだと私達の気持ちを大きく前向きにしてくれました。

一方、地方経済の再生は、まだ大変難しい課題も沢山ございますが、私達を囲む四市は、アクアライン、圏央道、東京オリンピック等の効果は、大型店の出店等も相次ぎ、南房総への観光出入人口は三千万人を超えると言われ、全国に類例の無い脚光を浴びております。

このアベノミクス効果を君津市全域の均衡のとれた発展にどうつなげるかが君津政財界の今年の大きな課題であります。幸い本年は「君津市産業振興条例」が施行されます。私共経済産業界は、行政との連携を益々密にし、豊かな観光資源、特性を最大限に活用して、3千万人の流入人口の受け皿となる、新しい地場産業を育成する事に全力を挙げ、それによって後継者を育て、定住人口、交流人口の増加につなげて行きたいと思っております。

本年は、6年後のオリンピックを想定内において、行政、企業を問わず、将来必要と思われる事業投資、設備は財政が苦しくても決断実行する年であると思っております。

昔から栄えた企業は、どんな困難な時であっても先見性を持って事業設備投資を決断し、実行したから次の好況の波に乗り成功してきたのであります。イオンはその典型であります。

市長さんにも市内三〇分道路も、フルーツライン構想も是非実行していただきたい。私達もまた行政に他力本願せず、自らの考えを実行に移して、平成の時代には二度とないこのチャンスを共に生かしたいものと念願しております。農商工観光業、そして君津製鐵所、行政と力を合わせ、次の時代に悔いを残さない様、努力を続けて参りたいと存じますので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げ、この一年が皆様にとっても、この君津市にとってもお元気で良い年であります様、祈念して新年のご挨拶とさせて頂きます。

